

さいたま市立大宮国際中等教育学校 Q&A

よくある質問について、お答えをいたします。(2019年7月時点)

<入学者選抜について>

【 受検資格について 】

Q1 市外・他県に在住し、入学までには引越しをする予定ですが、受検することは可能ですか。

4月1日までにさいたま市に住むことが出願の資格となります。市外にお住いの場合は、志願資格審査(11月22日～12月10日)の際にさいたま市に転居する証明書類を提出してください。なお、この期間で提出できない場合は、「転居を証明する書類に関する届」を提出していただき、2月3日に転居する証明書類を提出してください。

Q2 帰国生なので、グローバル・スタディの内容を知りません。集団活動を行う上で不利はないですか。

グローバル・スタディで扱っている教材については、さいたま市のホームページで公開していますのでご参照ください。<http://www.city.saitama.jp/003/002/008/005/p058103.html>

Q3 受検時に英語能力が高い方が有利ですか。

一般選抜においては、適性検査Aと集団活動において英語を活用する場面があります。ただし、適性検査Aの問題の大半は日本語で出題され、日本語で考える力をみます。本校ホームページの昨年度の適性検査の問題をご参照ください。<http://www.city-saitama.ed.jp/ohmiyakokusai-h/jyukun.html>

特別選抜においては、個人面接・適性検査E・集団活動において英語を幅広く活用する場面があります。

Q4 車椅子で生活しています。介護者が常時必要ですが、受検できますか。

受検に当たり、障害を有するために特別の措置が必要となる志願者の保護者は、「特別措置申請書」を作成し、在籍している学校長の確認を受けて、さいたま市教育委員会に持参により提出してください。詳細は、生徒募集要項をご参照ください。入学後の学校生活については、本校にお問い合わせください。

【 適性検査当日について 】

Q1 適性検査の会場はどこですか。

第1次選抜、第2次選抜ともに、大宮国際中等教育学校と同敷地内の大宮西高校で行います。

Q2 第2次選抜の集団活動時の服装にきまりはありますか。

第1次選抜、第2次選抜ともに指定はありません。普段、学校に登校している服装でお越しください。

Q3 集団活動の内容はどのようなものが予定されていますか。

集団活動では小学校のグローバル・スタディで身につけたコミュニケーション能力をみます。ホームページの昨年度の適性検査の問題もご参照ください。

Q4 適性検査を受ける際に、時計を持って行く必要はありますか。

各自で時計を持参することをお勧めします。なお、計算機能や翻訳機能のある時計等の持込は禁止します。

【 特別選抜について 】

Q1 一般選抜と特別選抜（帰国生特別選抜・外国人特別選抜）の併願はできますか。

一般選抜と特別選抜を併願することはできません。

【 選抜の方法について 】

Q1 合格者が160名とありますが、増えることはありますか。入学基準が男女で開きがあっても、男女80人ずつが合格ですか。

合格者が160名を超えることはございません。男子80名程度、女子80名程度を合格者とします。

Q2 選抜の際に、くじ引きは行いますか。

くじ引きは行いません。

Q3 小学校ごとに合格できる人数の枠は決まっていますか。

そのようなことは全くありません。

<IB（国際バカロレア）について>

Q1 IB（国際バカロレア）の教育プログラムについて、どのような内容ですか。

中等1～4年で実施する予定のMYP（ミドル・イヤーズ・プログラム）については、IB機構の示す枠組みに基づいた、本校独自のカリキュラムで学習します。グローバルコース5,6年で実施する予定のDP（ディプロマ・プログラム）に関しては、世界共通のカリキュラムで、国語、社会、理科、数学、外国語、芸術の6つのカテゴリーと、EE（課題論文）、TOK（知の理論）、CAS（創造性・活動・奉仕）の3つのコア科目を深く学びます。どちらのプログラムにおいても、各教科の知識を、現実世界の深い理解に結びつけることを目指し、探究的に学ぶ授業を行います。IB教育については、文科省ホームページにも資料がございますのでご参照ください。http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/

Q2 IBにおける奉仕活動とは、どのようなことを行うのですか。

IBにおける奉仕活動は、IBの目指す学習者像が示す資質を育成するとともに、「学習」したことをもとに、「行動する」ことを促す取組です。学校コミュニティ・地域に貢献する様々な奉仕活動が考えられます。本校では「Service as Action」という名称で実施します。

Q3 大宮国際中等のパンフレットにIBの記載がありませんが、いつ認められますか。

本校は2019年5月にIB機構にMYP候補校として登録されました。現在、認定校を目指しています。これまでの例では、多くの学校が認定校申請後、概ね1～2年で認定されています。

Q4 DP（ディプロマ・プログラム）の資格は大宮国際中等を卒業すればとれますか。また、大学進学に活かせますか。

DP の資格の取得には、①指定された科目の受講、②コア科目への取組み、③課題の提出、④世界共通の試験の合格、が条件になります。本校の卒業がそのまま DP の資格となるわけではありません。

DP の資格は、多くの海外大学（一部の国内大学）で出願要件の一部として認められています。IB の教育については、文科省ホームページにも資料がございますのでご参照ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/ib/

Q5 IB にかかる費用はいくらで、また、DP は無料で受けられますか。

MYP は、登録料などかかりません。DP は最終試験受験料など別途費用がかかります。改めてホームページでお知らせいたします。

Q6 海外の大学に、試験を受けずに入れますか。

海外大学の入学審査は国により大きく異なります。国により DP の資格のみで審査する大学もありますが、多くの場合、DP 資格に加えて試験の受験等、他の要件を満たす必要があります。

<保護者と学校の連携について>

Q1 PTA 活動はどのように行われますか。

名称を PTP（Parents Teachers Party）とし、保護者同士、保護者と教職員との連携を図ることを目的として組織を編成します活動内容や活動日は、PTP での意見交換やワークショップなどを通して決定していきます。

Q2 親の役員などがありますか。

PTP の運営を最小限の役員で行えるように組織し、役員は御協力いただける方にのみお願いをしています。

<費用について>

Q1 授業料、制服代、給食費などの費用を教えてください。

授業料は、前期課程は無料、後期課程は市立高校と同額（平成 31 年度は年間 118,800 円）程度になります。

制服は、前期・後期共通のデザインです。入学時の制服（夏・冬）、体育着、上履き、通学カバン等の購入費は、約 8 万円です。

初年度の学年費（教材費等）、後援会費、給食費等で年間 12 万円前後を予定しています。（旅行積立を除く）。前期課程のみ提供される給食費は市内中学校と同じ自校給食で提供し、同額程度（約 300 円）です。

Q2 「グローバルな視点を育む校外行事」の参加費用の概要を教えてください。

1・3年時の国内研修では、6万円程度、2・4年時の海外研修で、各30万円程度を見込んでいます。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

<学校生活について>

Q1 校則について教えてください。

一般的な公立中学校・高校と同様な校則を設定し、生徒が落ち着いて、安全・安心な学校生活を送れるようにします。ただし、校則の一部については、本校独自の設定のものが 있습니다。

Q2 携帯・スマートホンの持ち込みはできますか。

登下校の安全確保やご家庭との連絡のために、各ご家庭の責任において持ち込みを認めています。学校での活動中は各自のロッカーで管理し、使用しないことになっています。

<クラブアクティビティについて>

Q1 大宮国際中等の部活動の種目は何ですか。

大宮国際中等の部活動は Club Activity（クラブアクティビティ）と呼びます。施設、生徒数、安全管理面などを考慮し、現在、入学した1期生が種目を決めているところです。

Q2 夏休み中に、補講やクラブアクティビティはありますか。

2019年度は、夏休みを含めた長期休業中のクラブアクティビティや学校の主催する補講は計画していません。今後については、生徒の状況を見ながら検討していきます。

Q3 放課後の活動は何時までですか。

平日は16時50分に下校となり、教員の監督がある場合には、17時30分まで延長ができます。クラブアクティビティの活動は、平日の放課後週3回まで、土日はどちらか半日の範囲で計画を立て、実施していきます。

Q4 クラブアクティビティはどのように決定しているのですか。

学校の使用できる施設や安全に関する枠組みの中で、生徒自身が大宮国際中等教育学校にあるとよいと思うクラブを探求し、お互いに発表して決定しています。

Q5 クラブアクティビティの費用はどのようになりますか。

費用については、学校・後援会からの補助に加えて、必要に応じてクラブごとに集金する予定です。

Q6 開校後、どのクラブに何人在籍がいるのかHPで閲覧できるようにしてほしいです。

活動状況につきましては、積極的に情報発信できるように努めます。

Q7 クラブアクティビティのシーズン制は機能しますか。

シーズン制がより有意義なものになるよう生徒と話し合って計画し、充実した活動ができるように行っています。

Q8 クラブアクティビティの活動で、市の大会に参加できますか。

生徒の企画・活動の状況やクラブアクティビティの種類によって、市の大会に参加する、しないを決定していきます。クラブアクティビティでの活動により、自分たちがどのような活動をしていきたいのかを、生徒が探究していく貴重な機会と捉えています。

<施設について>

Q1 タブレットPCは6年間使用しますか。また、タブレットは学校に置くのでしょうか。

生徒一人一人に貸与するタブレット型PCは、学校内において個人で管理し、6年間使用します。学校にPC専用の充電保管庫を設置し、そこで保管します。

Q2 体育館にエアコンは設置されますか。

現在のところ、設置の予定はありません。

Q3 図書の蔵書について教えてください。

現在、日本語で書かれた調べ学習用図書・読み物が約4600冊、英語で書かれたノンフィクション・フィクションの読み物が約700冊、新聞8紙（うち3紙が英語）、雑誌3誌（うち1誌が英語）です。また、タブレットPCで使用可能なオンラインデータベースの導入も検討しております。今後も順次、本校の教育活動にふさわしい書物を選定していきます。

Q4 休み時間や放課後に自主学習をするための自習室などがありますか。

図書室やフロア内にあるスペースで学習することができます。

Q5 少人数指導室はどのようなときに使うのですか。

原則として2クラス3展開で授業を行うので、その際に授業などで使用します。

<授業について>

Q1 探究するテーマは中等1年に何回、自分で決められますか。

3Gプロジェクトでは、一人一人の探究活動を充実させ、有意義なものにするため、原則1年に1つのテーマをじっくり深めていくことを計画しています。

Q2 国語や歴史の授業も英語で行われますか。

原則、授業は日本語で行います。一部教科においては英語で授業を行う予定です。

Q3 現在、全く英語ができないのですが、大丈夫ですか。

適性検査では、小学校のグローバル・スタディで身につけたコミュニケーション能力を見ます。また、入学後は、英語を使う機会がたくさんありますので、現在の英語力に自信が無くても、英語での活動に積極的に取り組もうとする意欲のある生徒を待っています。

Q4 英語と他の教科とどちらに力を入れていますか。

どちらも大切にします。本校では、教科での学習を通して世界を深く理解し、よりよい世界をつくることに貢献できる人材の育成を目指しています。そのため、教科での学びと言語の学びは等しく重要であると考えています。

Q5 授業は学力別で行われますか。

行っておりません。

Q6 何学期制ですか。また、長期休みはいつですか？

前期・後期の2学期制です。夏休みが市内の中学校より1週間程度短くなり、前期と後期の間に秋休みが入ります。冬休み・春休みは市内の中学校と同様です。

Q7 中間テストや期末テストはありますか。

中間・期末テストのようにまとめては行いません。知識・理解の定着を測るため、各教科の各単元で確認テストや課題提出などを行っています。

Q8 クラス替えは毎年行いますか。

毎年、行います。

Q9 1クラスは何人ですか。また、授業は2クラスを3つに分けたとき、1グループ何人ずつですか。

1学級の定員は40名です。1つの学習グループは、おおよそ26人です。

Q10 在学中に芸能活動をすることは可能ですか。(現在活動中だが、両立したい)

学校外での活動について、制約はありません。ただし、平日の活動について、学校生活に支障がないようにご配慮をお願いします。

Q11 台風・大雪の日の授業はどうなりますか。

生徒の安全を第一に考え、天気予報や交通網の状況などにあわせて対応します。

Q12 探究学習は、本来学ぶべき内容が薄く浅くなることはないですか。

探究学習により、教科間のつながりや、各教科の知識と社会とのつながりを見つけ出したり、新しいアイデアを自ら発見したりするなど、深い学びを実現していきます。

Q13 体育の授業の内容を教えてください。また、プールの授業は6年間ありますか。

IB及び学習指導要領に沿った授業を展開していきます。プールの授業は、前期課程の体育で行いますが、後期課程においては検討中です。

Q14 現在、特別支援学級に通っています。学校の対応はどのようなものがありますか。

入学後は、個々の状況に応じてどのように対応できるか検討します。

Q15 宗教上、日中に礼拝をしなければならない時間が決まっているため、授業を抜けて礼拝をしてもよいですか。

個々の状況については、ご相談いただきながら多様性を損なわないよう配慮していきます。

Q16 中等5、6年のグローバルコースの時間割が英語で書いてありますが英語で授業を受けますか。

大宮国際中等ではDP6科目の内、半数程度を英語で、その他のDP科目や保健体育等は日本語で行うことを予定しております。

Q17 授業についていくために塾に行く必要はありますか

独自のカリキュラムで授業を行うため、高校入試を目的とした進学塾のカリキュラムとは学習の進度や時期が合わない可能性があります。学校での授業や課題を優先していただき、塾に行く場合は学校のカリキュラムと塾のカリキュラムを見比べてよくご検討ください。塾等での学習を前提とした授業は行いません。

<進路について>

Q1 中等3年終了時に中学卒業扱いになりますか。また、6年後の卒業時に高卒資格は得られますか。

中等3年終了時には中学校卒業と同等となります。本校を卒業すると高校卒業と同等となります。

Q2 日本のすべての大学を受験できますか。

本校を卒業すると高校卒業と同等になります。大学の示す基準に従えば、どの大学でも受験可能となります。

Q3 中等5年生のコース分けをする際、人数割合や目安を知りたいです。

コース選択については本人の希望を重視し、充実した学校生活が送れるよう、進路相談を行う中で決めていきます。各コースに定員はありませんが、グローバルコースはDPの学習内容を踏まえ、英語の学習到達度、MYPにおける学習の状況などにより、必ずしも希望に添えない場合もあります。

Q4 大学進学先として具体的な目標がありますか。

知の最先端を走る世界中の大学を進学先と考え、海外大学、国内の国公立大学及び有名私立大学を進学先として想定しています。生徒一人一人が自己と社会について深く理解して進路を選択し、希望する進路に進めるよう、これから求められる真の学力を養うとともに、6年間の一貫した教育の中で発達段階に応じた進路・キャリア教育を行います。

Q5 卒業までに英語はどのレベルに到達することを目標にしていますか。

卒業までに生徒全員が、少なくとも CEFR（外国語の語学力を評価する国際的な指標）B2 以上の英語力に到達することを目標としています。

Q6 他の高校に進学することは可能ですか。

転居による場合などを除き、原則として認めておりません。

<その他について>

Q1 掃除についてパンフレットに書かれていませんが、いつ行いますか。

原則として6時間の日の放課後に15分間行っています。

Q2 後期課程でも給食はありますか。

後期課程の中等4～6年では、給食はありません。弁当を各自用意するか、学校内の売店で食料品を購入できます。販売品目については、現在検討中です。

Q3 学校と保護者の連絡はメールですか。

入学時に登録いただくメールアドレスに連絡をさせていただいたり、遅刻・欠席の連絡のやりとりを行ったりします。

Q4 スクールバスの運行予定はありますか。

現在のところ計画はありません。学校から徒歩5分のところに、西武バスのバス停がありますので、そちらをご利用ください。

Q5 バス通学の交通費を知りたいです。

大宮駅西口から最寄りのバス停まで片道195円（ICカード利用）、西武バスの学トク定期券で1か月4000円程度です。詳細はバス会社にお問合せください。

Q6 自転車通学は可能ですか。

通学距離による制限があります。通学経路等の事情により申請していただき、学校長の許可を受ければ可能です。許可を受けるには、ヘルメットやカッパなどの用具や、自転車保険への加入、駐輪場の証明が必要です。

Q7 女子のスボン着用は認められますか。

男女とも指定の制服の選択肢の中から自由に選択できます。

Q8 さわやか相談室はありますか。

さいたま市立学校と同様、さわやか相談室を開設しており、生徒や保護者からの相談に対応しています。

Q9 いじめ対策はありますか。

さいたま市立学校と同様、いじめ対策を実施し、多面的、多角的にいじめ防止・早期発見に取り組みます。

Q10 中等1年のブリティッシュヒルズや中等3年の修学旅行などの校外行事は、必ず行かなければならないのですか。また、中等5、6年の校外行事はありますか。

中等1～4年の校外行事は、日々の学習との相乗効果を意図して組まれた教育活動の一環であるため、原則として全員参加となります。中等5、6年においては、宿泊を伴う校外行事は今のところ計画していません。

Q11 海外研修はホームステイがありますか。食物アレルギーの対応はどのようにしてもらえますか。

中等2年生、中等4年生の海外研修は、ホームステイやドミトリーを使っでの宿泊を計画しています。食物アレルギーについては、事前準備の段階から個別の相談に応じて慎重に対応していきます。

Q12 長期留学は可能ですか。

長期留学は可能です。ただし、中等5、6年のグローバルコースにおいては、国際バカロレアのDP資格が取得できない恐れがあります。個々の状況については、個別にご相談ください。